

# 華と強さ 因習蹴散らす

日本のビジネス界を代表するリーダーだった吉田晴乃さんが6月に急逝しました。亡くなる直前、大阪での主要20か国・地域(G20)の特別イベントでスピーチをしたばかり。55歳の若さでした。

一時は、通信企業BTジャパン社長、女性初の経団連役員、政府の規制改革推進会議委員、一人娘のシングルマザーと、「4足のわらじ」

ならぬ「4足のジミーツェウ(ハイヒールブランドの名)」を履いて多方面で活躍。2017年には米経済誌「フォーチュン」の「世

界の偉大なりリーダー50」に選出されました。

初めてお目にかかったのは4年前。ある経済界の名士の出版記念パーティーで、祝辞のため登壇した吉田さんの雄姿は忘れられません。

## Style アイコン

華やかな顔立ちを3倍増して強調するメイク、高級ブランドだと一目でわかるビョウ柄のジャケット、重量感あるゴールド

のアクセサリに11号はあろうかというピンヒール。目が覚めるような外見とは裏腹に、穏やかで理知的な話しぶりが強烈に印象に残



### 【吉田晴乃】

り、以後、彼女のインタビュ記事はほぼ見てきました。

「みんなが自分の時間を大切に、楽しく幸せであってほしい。それが最高の生産性につながる」「最高に欲張りな人生を求めなさい」。人目を引く華と強さがあり、ピンヒールを履

いてユーモアを交えつつ語る姿には「こんなビジネススタイルもありなのだ」という希望と勇気を与えてもらいました。「王道から外れた」ユニークなキャリアを築き上げた女王が、「日本のビジネスシーンでは超

のジャケット」といったチマチマしたルールをビョウ

のように優雅に蹴散らす。痛快でした。

装いこそバラエティーに富んでいましたが、仕事に向き合う態度は一貫しています。世間体に遠慮せず堂々と自分らしさを発揮する、チャンスがきたら手を伸ばす、そして自分の影響力を信じ、存在だけで場の空気を変えるような女性になる――。それらの姿勢を装いでも表現することは「世界基準」であると、身をもって教えてくれました。

ロールモデルとされることは好まなかったという吉田さんですが、「自分の人生のCEO(最高経営責任者)になる」という覚悟は、遺訓として受け継ぎたく思っています。

(エッセイスト 中野香織)